

## 令和2年度 エコ・サマーアクションの実施について

### 1 目的

地球温暖化の要因のひとつとされる二酸化炭素などの温室効果ガスを削減するためには、一人ひとりの省エネルギーや省資源などの取り組みが不可欠となっている。

このような中、これらの取り組みを市民・事業者へさらに推進するためには、市職員自らが率先した活動を行う必要があることから、エネルギーの使用が増加する夏場に、冷房の適正利用等による「エコ・サマーアクション」を実施し、市有施設からの温室効果ガス排出量の削減と職員等の環境に配慮した活動の意識高揚を図る。

### 2 実施期間

令和2年5月1日(金)から9月30日(水)まで<5か月間>

### 3 取組内容

#### (1) クールビズ

- ① 冷房時の室温が28度でも快適に過ごせるノーネクタイ・ノージャケットを基本とした軽装化により業務を行う。
- ② TPO(時・所・場合)に配慮した、さわやかな服装で業務を行う。
- ③ 会議等の開催案内や窓口への掲示板の設置、庁舎内放送等により取り組みを周知し、クールビズの協力や参加を呼びかける。
- ④ 次のものについては着用を可とし、県内プロスポーツチームの応援や市内のスポーツ振興等を図る。

・『モンテディオ山形』の「コンフィットTシャツ」及び「レプリカユニホーム」  
・『パスラボ山形ワイヴァンズ』の「ロゴTシャツ」  
・『東北楽天ゴールデンイーグルス』の「ホーム用ユニホーム」

※イベントのPR等を目的としたTシャツ等についても必要に応じ着用を可とする。

#### (2) プラスワンアクション 「マイボトル持参の推進」

毎週水曜日を「マイボトルの日」とし、ペットボトルなどの使い捨て容器ごみの削減を契機として、ごみを出さないライフスタイルの定着を図る。

### 4 取組対象 指定管理制度導入施設等を含む山形市の全ての施設と職員

※済生館等の完全実施が困難な施設については、可能な範囲で実施する。

### 5 通年で実施する主な省エネ・節電等の取り組み内容

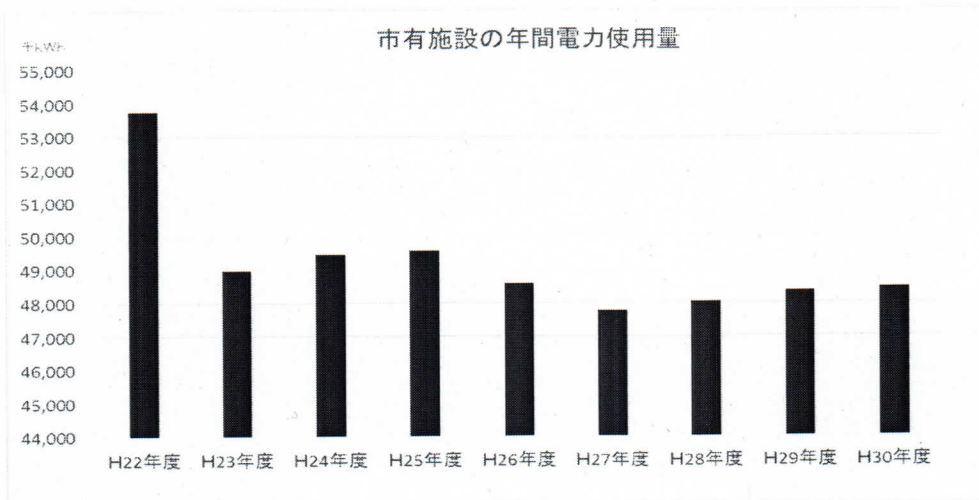
- ・ 照明機器の適正管理・利用
- ・ O A機器の適正管理
- ・ エレベーターの使用制限

- ・ ノー残業の推進と、定時退庁の励行
- ・ エコドライブの徹底とノーマイカー通勤の推進
- ・ ごみの減量化とリサイクルの徹底
- ・ 用紙使用量の削減（片面のみ使用コピー用紙の有効利用）【昨年度のプラスワンアクション】

## 6 市有施設における年間電力使用量の推移

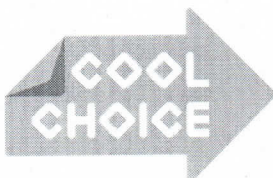
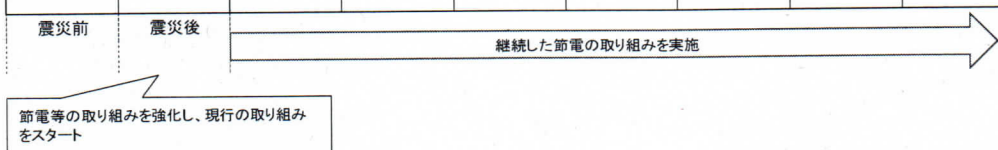
◆ 平成30年度の電力使用量（平成22年度比） 9.9%削減（5,308千kWh削減）

※この削減量は、1世帯当たりの年間電力使用量の約1,800世帯分又は、本庁舎電力使用量の約2年分に相当します。



(単位: 千kWh)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成22年度-平成30年度比較
53,754	48,986	49,464	49,580 ※西崎出張所の新設等により増加	48,588	47,755	48,046	48,364	48,446	△5,308千kWh (△9.9%)



地球温暖化防止のための  
賢い選択



問い合わせ先: 環境部 環境課 Tel.023-641-1212 内679